

# 弘経寺だより

発行所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

## 楠美知仁上人追悼会

十一月二十四日、大本山増上寺別院  
弘経寺第八十七世楠美知仁上人  
教光心院正蓮社信譽上人勇阿

の追悼会が営まれました。

情念知仁上座大和尚



第46号  
小島総代をはじめ、出席された檀家の

蓮池光洋新執事長、古橋幸雄執事を  
はじめ、七名の増上寺僧侶が楠美上人  
のために、お経を唱え、心からのお念  
仏を捧げました。当山檀家を代表して、

皆さんもお焼  
香を捧げ、一



心にお念仏  
をお称えし  
ました。

追悼会の後、蓮池上人より、楠美上  
人の増上寺や弘経寺、浄土宗宗門への  
多大なる功績を讃えるお話がありま  
した。

法然上人八百年御忌に向けて、増上  
寺は新執事長を迎えて、歩みだします。  
当山弘経寺も楠美前任職のご功績を  
大切にしながら、蓮池新任職と共に歩  
んで参ることになります。今後ともお  
檀家の皆様のご支援ご協  
力をお願い申し上げます。

## 蓮池新執事長 弘経寺住職に就任

去る十一月五日をもちまして、増上  
寺執事長に蓮池光洋上人が就任しま  
した。執事長就任をもって別院弘経寺  
の住職にも就任されました。

蓮池執事長は平成十三年五月に故  
江口執事長とともに増上寺に就任さ  
れ、以降教務部長を勤めてまいりまし  
た。楠美執事長の悲報を受け、信念の  
もとに宗祖法然上人八百年御忌に臨  
んだ先達の意志を引き継ぐべく職務  
に就かれました。

## 新年会・護持会総会

平成二十二年度弘経寺護持会総会  
を左記の通り、開催いたします。ご出  
席される方は同封の葉書にてご返信  
ください。

総会后、新年会を開催いたします。



弘経寺新任職 蓮池光洋上人

こちらへも是非ご参加ください。

日時：平成二十三年一月二三日(日)

午前十一時 護持会総会

正午一二時 新年会

会場：弘経寺新書院

会費：一〇〇〇円(新年会にご出席さ  
れる方のみ。当日徴収いたします)

※ 返信用葉書は護持会会員の方の  
み同封させていただきます。ご了  
承ください。

## 茨城教区浄土宗青年会 別時念仏会

来年二〇一一年は法然上人八〇〇  
年御忌の年です。つまり、法然上人が  
お亡くなりになられてから八〇〇年  
目にあたる年です。一周忌、三回忌、  
七回忌と数えていけば八〇〇年忌と  
いうこととなります。

さて、その法然上人八〇〇年御忌を  
記念し、当山弘経寺にてお別時(念仏  
会)を法然上人のご命日、一月二十五  
日(火)に営みます。主催は茨城教区  
浄土宗青年会です。法然上人の八〇〇  
年御忌のご命日にお念仏をお称えす  
る機会は一生涯に一度しかありません。

2011年1月 言い換えれば、この日にお念仏をお称えすることそのものに、八〇〇年分の功德が備わっているとも言えます。しかも、その念仏会が飯沼弘経寺で営まれることに、妙なる縁を感じます。

是非、この法然上人が念仏の教えを完成された日、一月二十五日に、浄土宗の青年僧侶と共に、お念仏をお称え頂きたく、ご案内申し上げます。

日時 二〇一一年一月二十五日（火）

午後三時～四時

場所 弘経寺 本堂

携行品 輪袈裟、念珠

参加費 無料

※どなたでもご参加いただけます。予約は必要ございません。当日午後三時までに、本堂へいらしてください。午後四時までの一時間お念仏をお称え頂き、そのまま解散となります。

## シリーズ法然上人

### — 他力本願 —

他力本願とは法然上人によって確立された哲学である。しかし、現代においてこの他力本願が「人任せ」「人

頼み」のような、間違った解釈をされていることは、残念なことである。

他力本願の真意は、人任せではない。人頼みでもない。苦しい時の神頼みでもない。人のふんどしで相撲を取ることもでもない。

ある意味において、「自力」よりも「他力」の方が厳しい。「自力」努力なので一生懸命やるのは当たり前。一生懸命やってやってやり尽くしても越えられない領域がある。限界がある。

しかし、限界までやりつくしたが故に見えてくる景色がある。その景色を観た者だけが弥陀の本願の深さに気づくことができる。真剣に生きている人

にのみ、弥陀の本願は働く。努力することに疲れ果ててしまつて目的の地、目標とする所へ辿り着けない。そんな時、阿弥陀様に祈る。念仏を称える。必ず救ってください。つまり、自力を超えたところに他力がある。自力を自力と思わせないほどに、大きくやさしく包み込んでくれるのが他力である。

何でも自力でできると思うこと自

体は決して悪いことではない。しかし、できなかったときに味わう絶望は私達を酷く苦しめる。しかし、私達が自力で生きているのではなく実は私達の想像を超えたもつともつと大きなもの（宇宙）に生かされているとしたら、私達が自力で生きているのではなく実は細胞や原子、素粒子といったものによって生かされているとしたら、絶望そのものが意味のないものと思えてくる。最先端の科学でも証明できないマクロの宇宙からミクロの量子に至る不思議な力、不思議な存在を、古の人々は阿弥陀（*amita*）と呼んだのかもしれない。

念仏を称えていると他力本願の本質が見えてくる。阿弥陀如来の前には、誰もが同じだけ絶望的な存在であると同時に、同じだけ救いの機会を与えられている希望の存在でもある。

## 弘経寺HP

アドレスは、

<http://www.gusyoji.jp>

です。または、ネットで

「弘経寺」と入力し検索して下さい。

今月の写経会（毎月第四土曜日）

一月二十二日（土）

平成二十三年最初の写経会は一月二十二日です。

1:45	受付	付
2:00	法話	話
2:20	写経	経
2:50	お念仏	念
3:10	懇談	談

会費 一〇〇〇円（高校生以下は五〇〇円）

携行品 小筆（受付でも販売します）

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方々が極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

十一月二十七日 飯田荘六殿 七八歳